

事業報告書

事業名 令和6年度信州大学経法学部出前講座
日 時 令和6年9月18日(水) 13:00~15:15
主 管 社会事業部(松永副会長、平林部長、黒川理事)
協 力 広報部(田村理事)

昨年に引き続き、信州大学松本キャンパスにて実施しました。今回も、総合法律学科で学ぶ学生12名と契約法を担当する栗田晶教授にご参加いただきました。

第一部は土地家屋調査士の業務内容を知ってもらうため、不動産登記制度の概要と土地家屋調査士が専門家として行う表示に関する登記について、平林部長が講義を担当しました。

栗田先生からも建物の物理的状況が変わっているという例を挙げていただき、状況から考えられることとして、登記に関するアドバイスもさせていただきました。

第二部ではGNSSとトータルステーション(TS)を用いた測量講座を行いました。学部棟の前庭であらかじめ測量した図面をもとに、2人1組で指定した座標を探す体験をしてもらいました。TSをのぞき込んだ学生が「右へあと20センチ」などと指示を送り、ターゲットを持った学生がその場所を掘って小さな金属鋏を発見すると、「ぴったりだ」「すごい」と歓声が上がりました。GNSS測量機器も業務利用に堪えるものが以前よりも一ケタ安く世に出ている状況を担当理事が説明し、その精度の良さに皆感心していました。

今回は座学の時間を多少短縮し、外での実習時間を長めに取りました。この日は猛暑も一休み、秋風を感じる薄曇りで測量には最適のお天気でしたが、終了間際には雷鳴が聞こえ出し、最後の組はちょっと駆け足になってしまいました。

学生の皆さんとお話をする中で、ほとんどが県外出身、中には留学生もいて、松本での暮らしを楽しんでいると話してくれました。

現在3年生ということで、就職、進学といった進路はこれから定まっていくことでしょう。いつか職業選択で転機が訪れたとき、この出前講座が生きてくれればと思います。

大学はまだ夏休みで、地元に戻らずに参加してくださった学生の方も多いと伺いました。色々な予定をやり繰りして時間を割いてご参加いただいた学生の皆さんと栗田先生には、改めて御礼申し上げます。

広報部 田村